

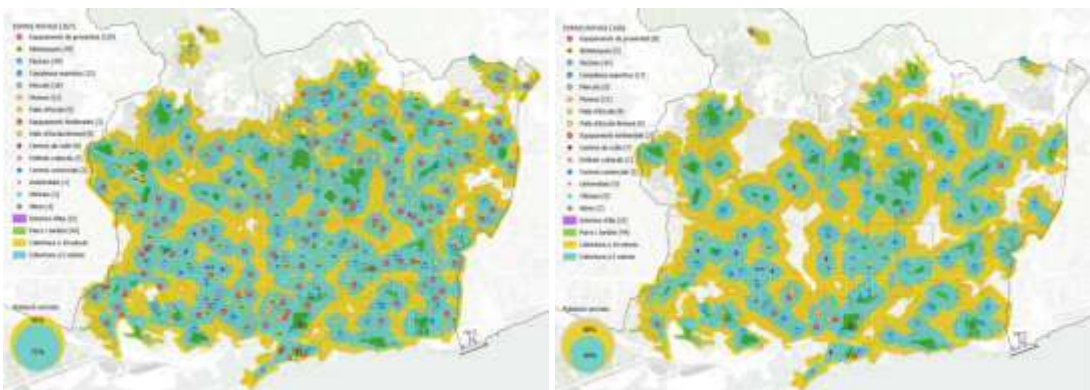
クーリングシェルターと涼み処

バルセロナ市（スペイン）

- バルセロナ市は暑さと寒さをしのぐため、2種類の**クライメートシェルター**を設置
 - ①熱中症要配慮者の保護に主眼を置いた、社会福祉サービスが運営する**24時間開放の施設**
 - ②**施設の営業時間中開放し、短時間滞在を想定した施設**（公共・商業施設、学校等）
- シェルターの主な登録要件は、快適な温度であり、飲み水、座る場所があること、バリアフリーであること。屋内施設は、室温が夏は26℃以下、冬は21℃以上であること。屋外施設は、十分な日陰（**シャドウプラン**）と座って休めるスペース、水飲み場があること
- 全てのシェルターで飲料水を持ち帰り可能な容器ごと提供し、地域情報の載った地図を配布**
アプリ等の電子媒体での公開の他に、**高齢者に考慮した紙媒体でも配布**

2030年までの導入目標

- ・2030年までに全人口が徒歩5分圏内でシェルターにアクセスできる環境を整えることを目標に設定。現在の徒歩5分圏内のカバー率は71%、徒歩10分圏内は99%
- ・バカンスシーズンの日曜日は45%と89%に低下。今後はバカンスシーズンのカバー率低下への対策や、人口の少ない地域における**マイクロシェルター**（飲食店などで1~2席用意する）の導入などを検討



バルセロナ市ウェブサイト及びヒアリング調査による

クライメートシェルターに関する市民調査

- ・2021年から市実施の年次**市民アンケート調査**に**クライメートシェルター**に関わる設問を導入
- ・**クライメートシェルターの認知度は20%未満であったが、2024年には約40%まで上昇**
クライメートシェルターの利用率は市の人口に対し、2021年に7.7%であり、2024年に13.2%に上昇した。

街中に日陰を作る取組（シャドウプラン）

- ・日照時間が長いあるいは日照りが厳しくかつ子どもや高齢者が多い地域の**公共スペースで日陰を作る取組を実施**。
- ・基本的には樹木といった自然の利用を優先し、他の場合は組立・分解が簡単な撤去可能な構造物の設置を行う。



▲日陰設置イメージ（提供：バルセロナ市）